



# く せ ん 薫 泉

学校の目標  
社会の変化に自ら対応でき、豊かな心をもち、表現力豊かな国際人を目指し、次のような子どもを育成する。

・よく考え、進んで学習する子ども  
・いつも元気で、じょうぶな子ども  
・こころ豊かで、やさしい子ども

見つけよう 重なり合おう つながろう

くカラフル 矢口っ子 ワールドく

矢口文化芸術展を開催

校長 井上光広

十一月は二十八日から三十日に「矢口文化芸術展」を開きます。題名の文言が今年のテーマです。

この三日間は体育館が美術館に変身します。本校の今年度の合い言葉をたくさんの「アウトプット」をしていこうということで、これまで取り組んできました。矢口文化芸術展こそ、こどもたちの言葉を超えたアウトプットとなります。一つの作品の良さを見付けるだけでなく、他の作品とも重なり合ったり、つながったりするイメージで、体育館全体を鑑賞していただければと思います。

「矢口文化芸術展」という名称に「矢口文化芸術」という名称には背景があります。平成三十三年度までは本校の学芸・展覧行事は「矢口文化フェスタ」という名称で、学芸会・展覧会・音楽会の三つをすべて同時開催していた時代がありました。授業時数や年間日程に余裕がある時代にはそれは可能でしたが、平成二十九年度に出された学習指導要領では、そのような活動ができる余裕はなくなり、令和元年度から展覧会・学芸会を隔年で行う一般的な形に変更しました。その年の展覧会は「矢口文化フェスタ」という名称が残っていたため、名称と開催内容が合っていないことから名称変更を検討しました。当時「矢口文化フェスタ」に熱い思いをもっていらつしやった卒業生や保護者の方がとても多く、「なぜ矢口文化フェスタ

をやめたのか」というご意見を数多くいただき、それではせめて「文化フェスタ」の歴史だけは名称に残そうという思いで、令和二年度から学芸会を「矢口文化芸術劇場」、展覧会を「矢口文化芸術展」とすることを決めました。ところがそれを決定した直後の令和二年二月からコロナ禍が始まり体育館に人を集められなくなり、翌年度開催予定だった「矢口文化芸術劇場」は中止、苦肉の策で廊下展示だけの「放課後作品展」をするしかありませんでした。

このようなことがあり、令和四年度に第一回目の「矢口文化芸術展」を開催し、参観してくださった方々からとても好評のお声をいただきました。今年度は第二回目となります。

学校は所属する児童と保護者、そして教職員の入れ替わりが毎年あり、学校の流れを知っている人がいなくなることもあり得ます。そこで今回は、本校独自の名称である「文化芸術展(劇場)」がどのように命名されたのかを、皆様にお伝えしました。記憶に残していただければ幸いです。

### 【お知らせ】

◎十一月二日(土)午後 PTAとお父さんクラブによる「やさいも大会」があります。

◎十一月十日(日)にPTA矢口ブロック卓球大会が多摩川小学校で行われます。

◎十一月十五日(金)の午後に行う就学時健康診断を五年生児童がお手伝いをします。最高学年になるために新入生たちのお世話をし、心の準備を始めます。

◎十一月十六日(土)午前九時より十一時三十分まで、本校で地域防災訓練が行われます。災害から地域を守るための大切な訓練です。ぜひ自発的にご参加ください。今回は正門に設置されている「災害時公衆電話」(皆さん、ご存じでしょうか?)を使った訓練も行おう、学校から蒲田西特別出張所に依頼もしています。

### 十一月の生活目標

進んでよいことをしよう 生活指導部

「一日一善」という言葉があります。「一日に一回善い行いをしましょう。」という意味があります。またそれを、日々積み重ねていきましようという呼びかけでもあります。例えば、自分から挨拶をする。「ありがとう」と言う。困っている人がいたら、声をかける。ゴミを拾うなど、ちよつとしたことでも自分に何かできることはないかと心がけて行動し続けることで、その思いは周りに伝わります。また、善い行いをすればいつか必ず自分に返ってきます。こどもたちは日々日直や当番・係活動など、様々な役割や仕事を担っています。生活指導部では、今後も多くの成長の機会をつくり、「一日一善」自ら善い行いを心がけて行動する、こどもたちの姿を目指して指導していきます。

### 「矢口文化芸術展」について

文化的行事委員

今年度は図画工作と家庭科を主として、「矢口文化芸術展」を行います。

「見つけよう 重なり合おう つながろうくカラフル矢口っ子ワールドく」をテーマに、自分の思いや個性を表現するために、工夫を凝らして一生懸命作品制作をしています。そんな一人一人の思いが重なり合って、つながって、個性あふれるカラフルな作品たちが体育館を彩ります。芸術の秋にふさわしい作品展になると思いますので、ぜひ隅々まで楽しんでご覧ください。

今年度は、二十八日(木)から三十日(土)の三日間を設定しています。二十八日・二十九日は、児童鑑賞日ですが、十五時〜十六時までお子様と保護者の方が一緒に鑑賞できる時間を設けています。三十日(土)は、九時〜十五時まで保護者鑑賞日とし、全ての学年の保護者が見ただけです。鑑賞日を多く設定しておりますので、ぜひ何度でもゆつくりと作品をご覧ください。詳細は先日配布した「矢口文化芸術展のご案内とお願い」や、後日配布のプログラムをご覧ください。